

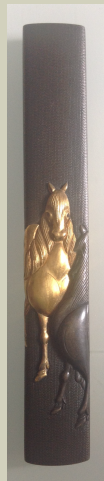


美

<日本美術>

刀を飾る。
刀装具から読み解く日本文化

サムライのお洒落道具
【美編】



古来より、日本刀と鐔や目貫をはじめとした刀装具は、日本人の生活と密接な関わりを持っていました。その証拠に、今も私たちの周りには「元の鞘に戻る」「反りが合わない」「目抜き通り」といった刀・刀装具にまつわる言葉がたくさん残っています。当時の人々にとって刀装具は、今でいう腕時計やネクタイのようなお洒落道具であり、各時代を代表する名人は皆、刀装具の世界から生まれています。今回は、美術館・博物館の展覧会にも滅多に出されない個人コレクターの傑作品の観賞を楽しみつつ、刀装具に秘められた日本文化の謎を紐解いていきます。

【美編】 公益財団法人
講師 日本刀文化振興協会特別研究員

生田 享子



学習院大学文学部史学科卒業
学習院大学文学部史学科研究室副手、学習院大学史料館学芸員を経て、
現在、公益財団法人日本刀文化振興協会特別研究員、国際刀装具会日本正会員

開催時間

16時～18時

(この講座共通です)

講座内容	日程	美編					技編(講師泉先生)			
		4/1 (土)	6/3 (土)	7/1 (土)	9/2 (土)	10/7 (土)	12/2 (土)	1/6 (土)	2/3 (土)	3/3 (土)

参加される講座 ☐ にチェックを入れてFAXください

☐ 全ての講座に参加する

▼美編前期カリキュラム

- ☐ 第1回 4月1日(土) 幕末～近現代「お雇い外国人も驚いた日本の職人技」
- ☐ 第2回 6月3日(土) 江戸時代Ⅰ「有名俳句が隠されている?～目には青葉山ホトトギス初鯉」
- ☐ 第3回 7月1日(土) 江戸時代Ⅱ「洗っているのは米か? 釜か? 一本所七不思議より」

引き続き、泉 公士朗先生による
【技編】もご紹介します。(1/6・2/3・3/3)

▼美編後期カリキュラム

- ☐ 第1回 9月2日(土) 江戸時代Ⅲ「暴れん坊将軍が愛した馬、紀文が欲しがった牡丹」
- ☐ 第2回 10月7日(土) 安土桃山時代「細川ガラシャとキリシタン鐔」
- ☐ 第3回 12月2日(土) 鎌倉時代～室町時代「龍と蜻蛉が意味するものとは?」

※講座内容は変更になる可能性があります。

後 援

千代田区・公益財団法人 日本刀文化振興協会・一般社団法人次世代芸術文化都市研究機構

受講料

2,000円/回

全6回

学生: 1,000円/回

【学生証をご提示ください】

定員24名

受講申込書専用: FAX03-6272-4561

お名前	ふりがな	ご連絡先	TEL (携帯可)
住所	〒	受講No	FAX
			eMail
			@

受講証をお持ちの方は、氏名と番号のみでお申し込みできます

お問い合わせ

ジャポニスムアカデミー事務局

東京都千代田区麹町2-2-1 オーセンティック半蔵門6階

Fax 03-6272-4561 tokyo-j@japonisme.or.jp



0120-724-561

受付時間
9時～17時
(平日のみ)

本部: 一般財団法人本願寺文化興隆財団 京都市山科区上山旭山町8-1